

令和 7（2025）年度
栃木県政世論調査
調査結果（速報）

令和 7（2025）年10月
栃 木 県

目 次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	2
1	暮らしの変化について	
(1)	暮らしの変化	2
(2)	暮らしが悪くなった理由	3
(3)	暮らしの満足度	4
(4)	今後の暮らしの状況	5
(5)	今後の暮らしで力を入れる点	6
2	県政への要望について	
(1)	県政への要望	7
3	日常生活について	
(1)	文化・芸術活動について	10
(2)	スポーツ活動について	11
(3)	住んでいる地域について	12
(4)	社会貢献活動について	13
4	防災対策について	
(1)	避難情報（5段階の警戒レベル）の認知度	14
(2)	災害に対する備え	15
5	栃木県への愛着と誇りについて	
(1)	栃木県に対する愛着	16
(2)	栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの	17
6	男女平等意識について	
(1)	社会全体の中での男女の地位の平等感	19
(2)	固定的な性別役割分担意識	20
(3)	働く場での男女の地位の平等感	21
7	地域のつながりについて	
(1)	ご近所との関係	22
(2)	家族・親族以外で相談できるところ	23
8	ケアラーについて	
(1)	ケアラーという言葉の認知度	24
(2)	ケアラー当事者になる可能性	25
9	在宅医療について	
(1)	自宅療養への考え	26
(2)	人生会議（ACP）の認知度	26

目 次

10 食の安全・安心について

- (1) 食品の安全性に対する不安 27
- (2) 食品の安全性について不安に思うもの 28

11 食に関する意識と実践について

- (1) 産地や生産者を意識して食品等を選ぶか 29
- (2) 農業体験をした経験 30

12 とちぎの元気な森づくり県民税について

- (1) 重要だと思ふ森林の持つ働き 31
- (2) 県民税事業の取組の重要性 32

13 犯罪と治安対策について

- (1) 県内の治安状況の変化 33
- (2) 不安を感じる犯罪 34
- (3) 交通事故を抑止するための対策 35

14 公共交通について

- (1) 公共交通の利用状況 36
- (2) 公共交通に関する満足度 37
- (3) 公共交通に不満を感じる事 38

15 自転車利用率と目的について

- (1) 自転車の利用状況 39
- (2) 自転車利用の目的 39
- (3) 自転車利用に際して不満を感じる事 40

16 スマートフォンの活用について

- (1) スマートフォン利用の目的 41
- (2) スマートフォン利用に当たり困ったことや不安に思ったこと 42

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、現在あるいは今後解決すべき課題について、県民の県政に対する意識・要望などを的確に把握し、県政施策の企画・立案及び県政執行上の参考とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 暮らしの変化について※ | (9) 在宅医療について |
| (2) 県政への要望について※ | (10) 食の安全・安心について |
| (3) 日常生活について※ | (11) 食に関する意識と実践について |
| (4) 防災対策について | (12) とちぎの元気な森づくり県民税について |
| (5) 栃木県への愛着と誇りにについて | (13) 犯罪と治安対策について |
| (6) 男女平等意識について | (14) 公共交通について |
| (7) 地域のつながりにについて | (15) 自転車利用率と目的について※ |
| (8) ケアラーについて | (16) スマートフォンの活用について※ |

(※印は時系列調査、※印は新規調査)

3 調査設計

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 栃木県全域 |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標 本 数 | 2,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収又はインターネット回収の選択式） |
| (6) 調査時期 | 令和7（2025）年5月30日～6月30日 |

4 調査機関

株式会社タイム・エージェント

5 回収結果

回収数（率） 1,492（74.6%）

6 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 図表・本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
- (5) 性／年齢別の分析の説明では、男性18～19歳の回答者は10人、女性18～19歳の回答者は13人と少ないため、他の性／年齢と比べて顕著な傾向の違いがある場合でも、一律にふれていない。また、性別を「回答しない」の回答者が13人と少ないため、図表化していない。

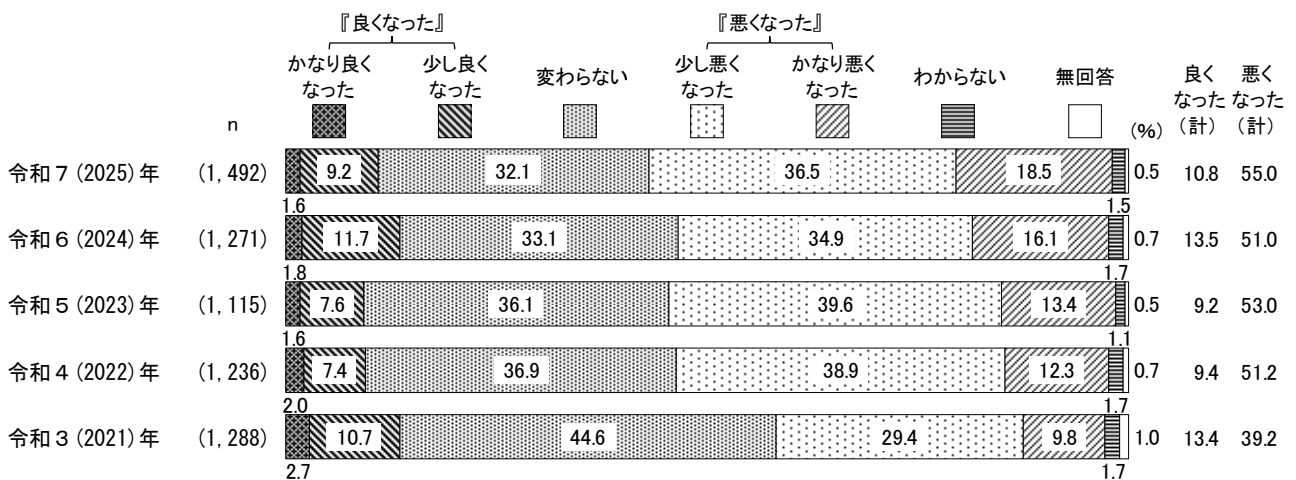
Ⅱ 調査の結果

1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『良くなった』	13.5%	10.8%	2.7 ↓
『悪くなった』	51.0%	55.0%	4.0 ↑



【性別】

大きな傾向の違いはみられない。

- ・『良くなった』・・・男性（12.2%）、女性（10.0%）
- ・『悪くなった』・・・男性（54.2%）、女性（55.4%）

【性／年齢別】

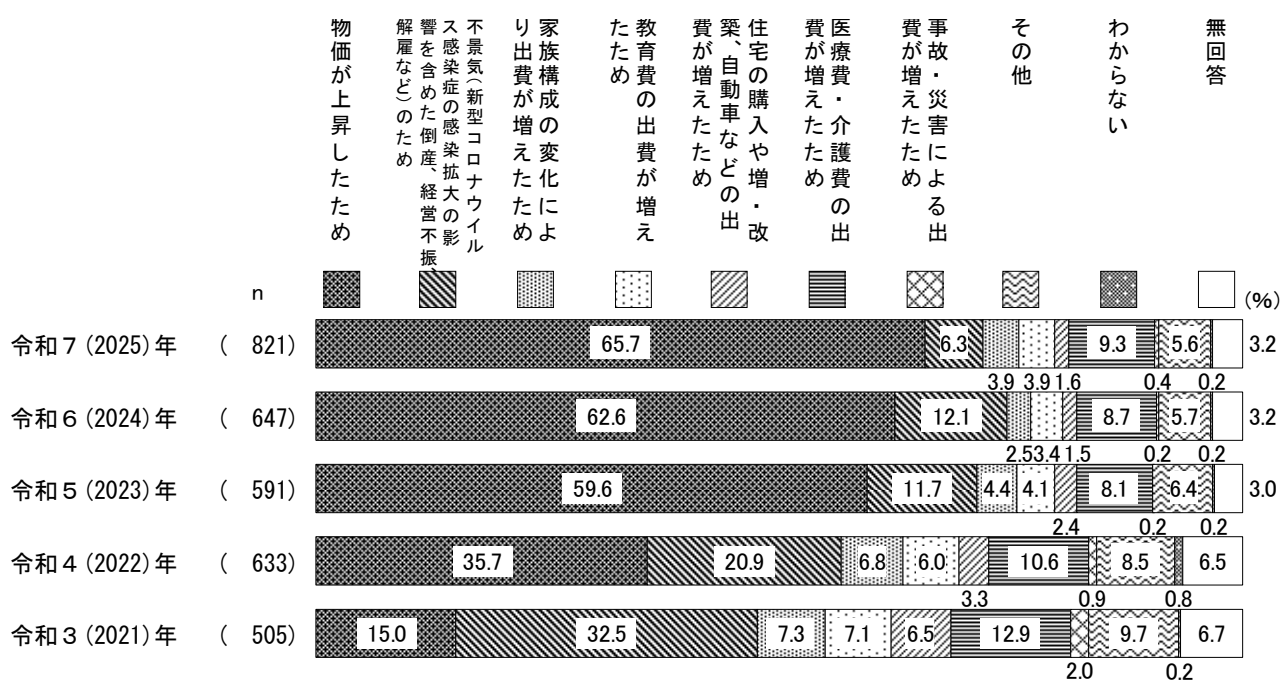
- ・『良くなった』・・・男性20歳代（19.7%）、男性30歳代（17.7%）が高くなっている。
- ・『悪くなった』・・・男性60～64歳（76.9%）が高くなっている。

(2) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問2 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。
[n=821]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
物価が上昇したため	62.6%	65.7%	3.1 ↑
医療費・介護費の出費が増えたため	8.7%	9.3%	0.6 ↑
不景気のため	12.1%	6.3%	5.8 ↓



【性別】

- ・物価が上昇したため…男性 (65.9%)、女性 (65.1%)
- ・医療費・介護費の出費が増えたため…男性 (7.6%)、女性 (10.4%)
- ・不景気のため…男性 (8.2%)、女性 (4.5%)

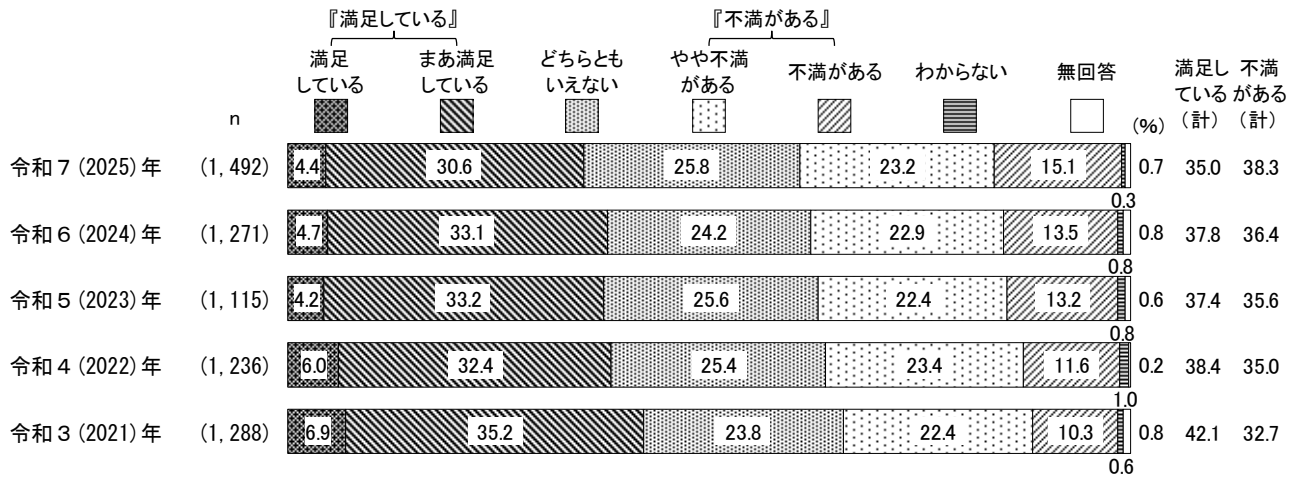
【性／年齢別】

- ・物価が上昇したため…男性20代 (90.5%) が高くなっている。
- ・医療費・介護費の出費が増えたため
…女性70歳以上 (16.1%)、男性70歳以上 (14.4%) が高くなっている。
- ・不景気のため…男性65～69歳 (16.7%)、男性60～64歳 (15.0%) が高くなっている。

(3) 暮らしの満足度

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『満足している』	37.8%	35.0%	2.8 ↓
『不満がある』	36.4%	38.3%	1.9 ↑



【性別】

- ・『満足している』・・・男性(32.6%)、女性(37.9%)
- ・『不満がある』・・・男性(40.6%)、女性(35.5%)

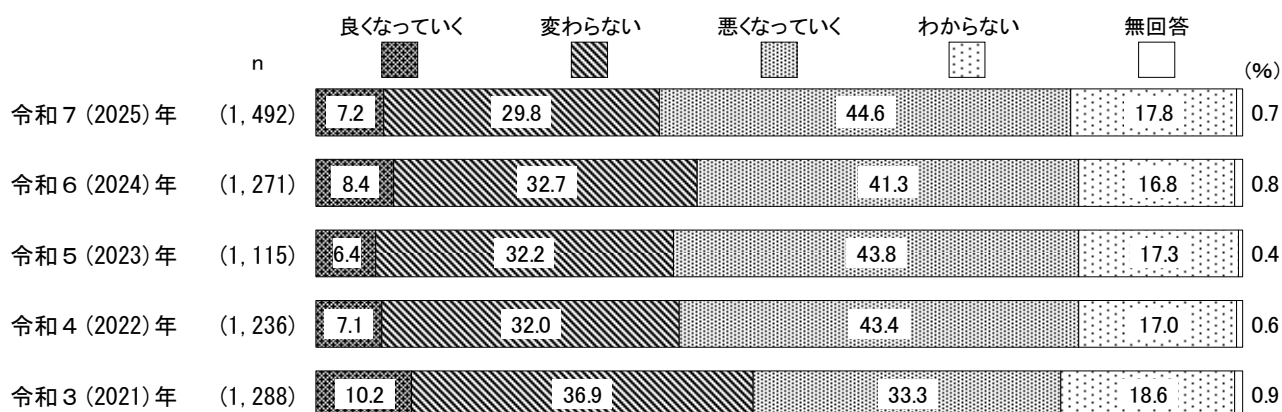
【性／年齢別】

- ・『満足している』・・・女性20歳代(50.9%)が高くなっている。
- ・『不満がある』・・・男性60～64歳(50.0%)が高くなっている。

(4) 今後の暮らしの状況

問4 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
良くなっていく	8.4%	7.2%	1.2 ↓
変わらない	32.7%	29.8%	2.9 ↓
悪くなっていく	41.3%	44.6%	3.3 ↑



【性別】

- ・良くなっていく…男性(8.7%)、女性(6.0%)
- ・悪くなっていく…男性(47.6%)、女性(42.0%)

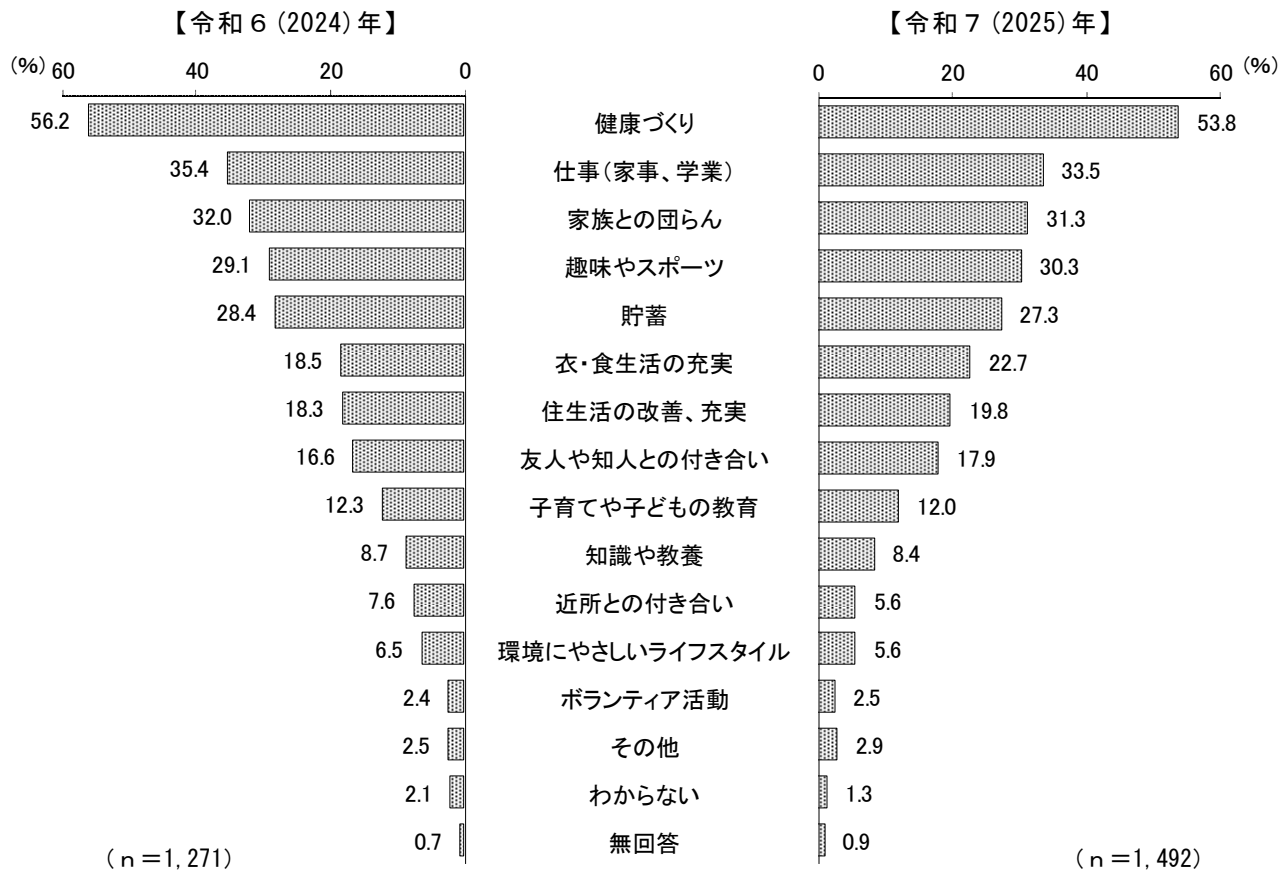
【性／年齢別】

- ・良くなっていく…男性20歳代(23.0%)が高くなっている。
- ・悪くなっていく…男性60～64歳(61.5%)が高くなっている。

(5) 今後の暮らしで力を入れる点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
健康づくり	56.2%	53.8%	2.4 ↓
仕事(家業・学業)	35.4%	33.5%	1.9 ↓
家族との団らん	32.0%	31.3%	0.7 ↑



【性別】

- ・趣味やスポーツ…男性(35.9%)、女性(26.0%)と、男女差(9.9ポイント)が最も大きい。

【性／年齢別】

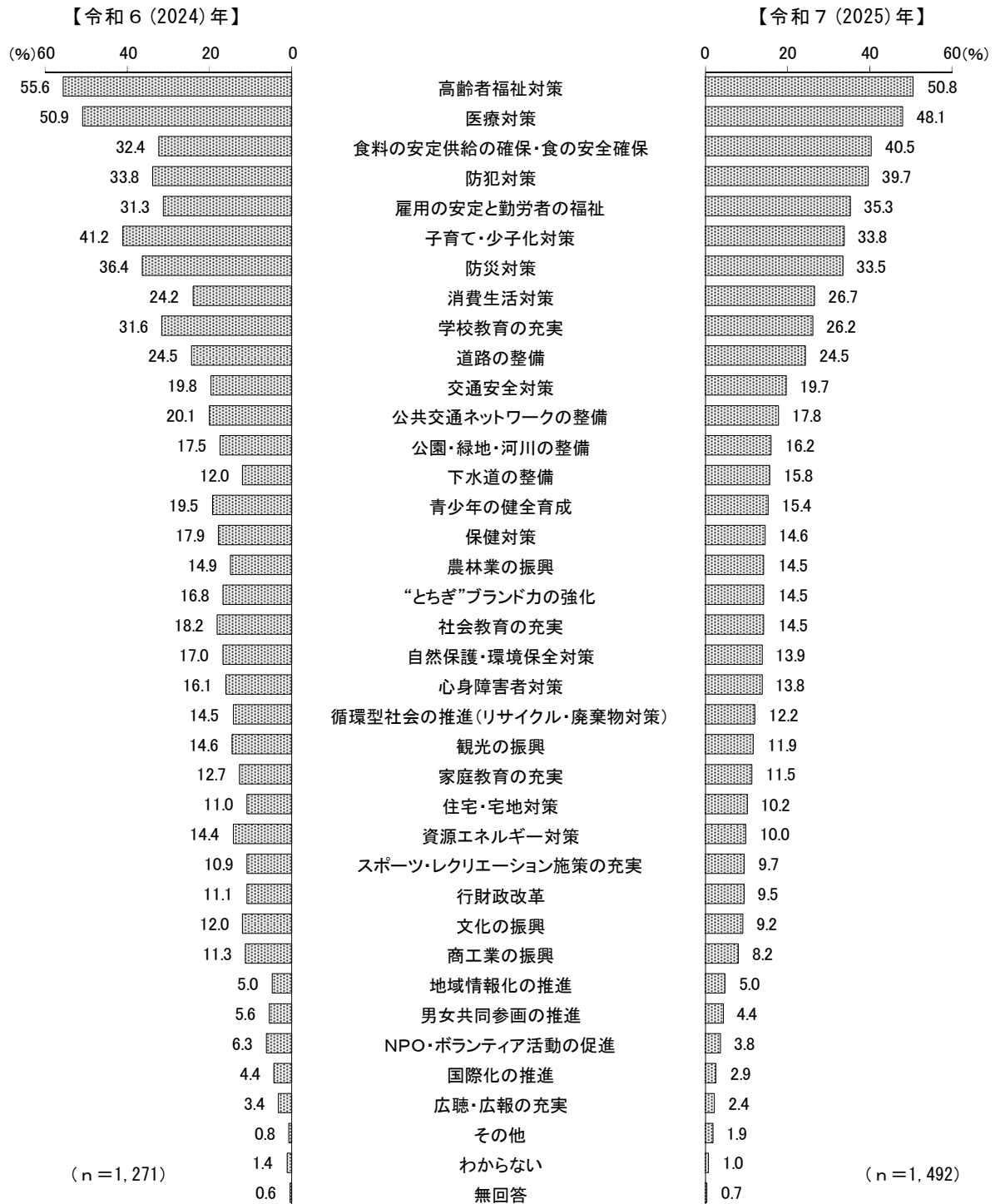
- ・健康づくり…女性70歳以上(81.3%)が高くなっている。
- ・仕事(家事、学業)…女性20歳代(61.0%)、男性20歳代(60.7%)が高くなっている。

2 県政への要望について

(1) 県政への要望

問6 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら、「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」をめざして様々な仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
高齢者福祉対策	55.6%	50.8%	4.8 ↓
医療対策	50.9%	48.1%	2.7 ↓
食料の安定供給の確保・食の安全確保	32.4%	40.5%	8.1 ↑
防犯対策	33.8%	39.7%	5.9 ↑
雇用の安定と勤労者の福祉	31.3%	35.3%	4.0 ↑
子育て・少子化対策	41.2%	33.8%	7.4 ↓
防災対策	36.4%	33.5%	2.9 ↓
消費生活対策	24.2%	26.7%	2.5 ↑
学校教育の充実	31.6%	26.2%	5.4 ↑
道路の整備	24.5%	24.5%	0.0 →



【性別】

- ・高齢者福祉対策・・・女性（56.4％）が、男性（44.3％）より12.1ポイント高くなっている。
- ・医療対策・・・女性（53.3％）が、男性（41.8％）より11.5ポイント高くなっている。
- ・食料の安定供給の確保・食の安全確保
・・・女性（44.2％）が、男性（35.4％）より8.8ポイント高くなっている。

【性／年齢別】

- ・高齢者福祉対策・・・女性70歳以上（76.6％）が高くなっている。
- ・医療対策・・・女性50歳代（61.6％）が高くなっている。
- ・食料の安定供給の確保・食の安全確保・・・女性70歳以上（51.6％）が高くなっている。

[過去の調査結果一年齢別]

(上位5項目)

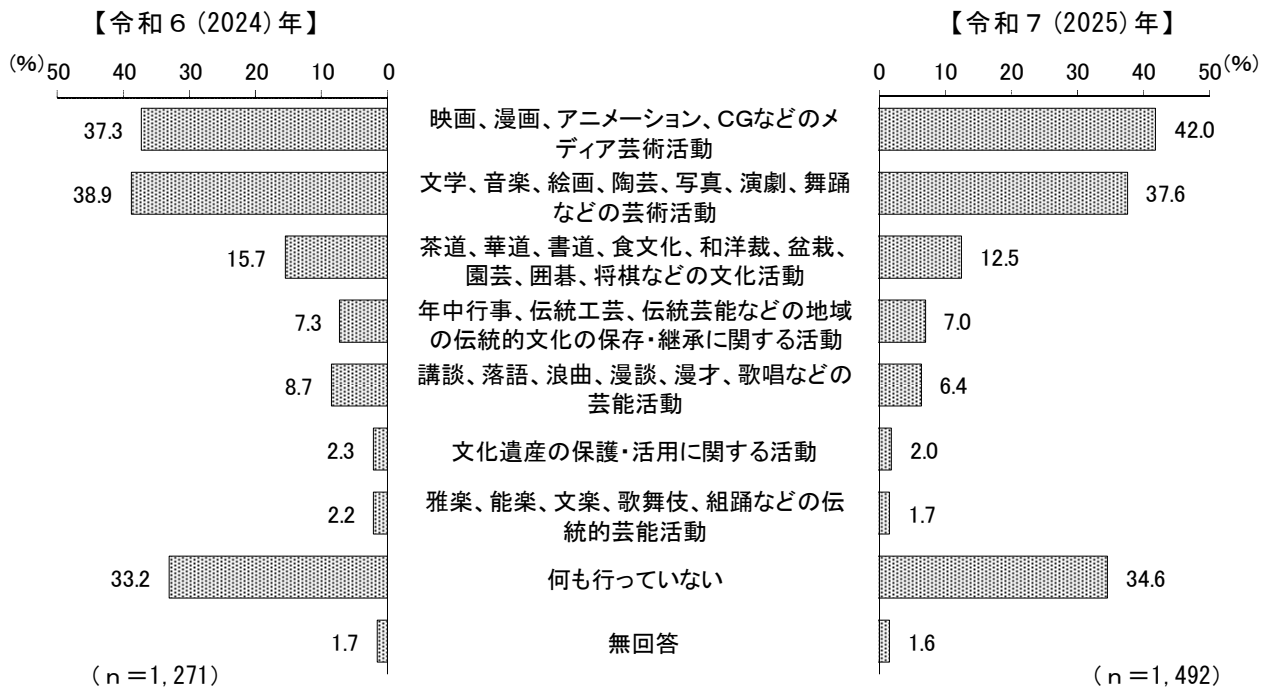
年齢	順位 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	令和7(2025)年 (n=1,492)	高齢者福祉対策 50.8%	医療対策 48.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 40.5%	防災対策 39.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.3%
	令和6(2024)年 (n=1,271)	高齢者福祉対策 55.6%	医療対策 50.9%	子育て・少子化対策 41.2%	防災対策 36.4%	防災対策 33.8%
	令和5(2023)年 (n=1,115)	高齢者福祉対策 56.4%	医療対策 49.6%	子育て・少子化対策 36.9%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.9%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.1%
	令和4(2022)年 (n=1,236)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 47.2%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.6%	子育て・少子化対策 35.4%	防災対策 33.7%
	令和3(2021)年 (n=1,288)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 51.9%	防災対策 38.5%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.3%	子育て・少子化対策 35.2%
	令和7(2025)年 (n=273)	子育て・少子化対策 49.5%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.8%	学校教育の充実 40.3%	医療対策 38.8%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.5%
20 〜 39 歳	令和6(2024)年 (n=236)	子育て・少子化対策 55.5%	医療対策 46.6%	学校教育の充実 44.9%	防災対策 37.7%	防災対策 36.0%
	令和5(2023)年 (n=188)	子育て・少子化対策 59.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.3%	学校教育の充実 44.1%	医療対策 43.1%	防災対策 33.5%
	令和4(2022)年 (n=213)	子育て・少子化対策 52.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 43.7%	医療対策 41.8%	学校教育の充実 40.4%	防災対策 37.6%
	令和3(2021)年 (n=288)	子育て・少子化対策 58.7%	学校教育の充実 44.8%	医療対策 42.4%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.0%	防災対策 37.5%
	令和7(2025)年 (n=484)	医療対策 48.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 47.7%	高齢者福祉対策 43.4%	防災対策 42.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 39.9%
40 〜 59 歳	令和6(2024)年 (n=382)	医療対策 49.2%	高齢者福祉対策／子育て・少子化対策	46.1%	学校教育の充実 40.3%	雇用の安定と勤労者 の福祉 40.1%
	令和5(2023)年 (n=329)	医療対策 55.0%	高齢者福祉対策 51.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 45.0%	子育て・少子化対策 38.6%	防災対策 34.7%
	令和4(2022)年 (n=379)	医療対策 53.6%	高齢者福祉対策 50.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.2%	子育て・少子化対策 39.6%	学校教育の充実／ 防災対策 34.8%
	令和3(2021)年 (n=398)	医療対策 54.5%	高齢者福祉対策 48.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 42.2%	防災対策 38.7%	子育て・少子化対策 33.2%
	令和7(2025)年 (n=246)	高齢者福祉対策 61.0%	医療対策 48.0%	防災対策 40.2%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 39.0%	防災対策 34.6%
60 〜 69 歳	令和6(2024)年 (n=227)	高齢者福祉対策 72.2%	医療対策 62.1%	防災対策 42.3%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 37.4%	子育て・少子化対策 36.6%
	令和5(2023)年 (n=221)	高齢者福祉対策 67.4%	医療対策 51.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 38.0%	防災対策 37.6%	防災対策 35.7%
	令和4(2022)年 (n=228)	高齢者福祉対策 61.4%	医療対策 46.9%	防災対策 32.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 31.6%	子育て・少子化対策 30.7%
	令和3(2021)年 (n=247)	高齢者福祉対策 67.6%	医療対策 59.5%	防災対策 41.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.0%	防災対策 30.8%
	令和7(2025)年 (n=454)	高齢者福祉対策 74.2%	医療対策 54.4%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 45.4%	防災対策 40.1%	防災対策 33.0%
70 歳 以上	令和6(2024)年 (n=401)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 49.9%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 35.9%	防災対策 35.2%	防災対策 32.9%
	令和5(2023)年 (n=355)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 47.6%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 41.4%	防災対策 31.8%	防災対策 27.9%
	令和4(2022)年 (n=379)	高齢者福祉対策 67.5%	医療対策 44.1%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 37.2%	防災対策 33.0%	防災対策 26.9%
	令和3(2021)年 (n=312)	高齢者福祉対策 67.9%	医療対策 51.0%	防災対策 37.8%	食料の安定供給の確保・ 食の安全確保 30.8%	防災対策 28.2%

3 日常生活について

(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	37.3%	42.0%	4.7 ↑
文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	38.9%	37.6%	1.3 ↓
茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	15.7%	12.5%	3.2 ↓
何も行っていない	33.2%	34.6%	1.4 ↑

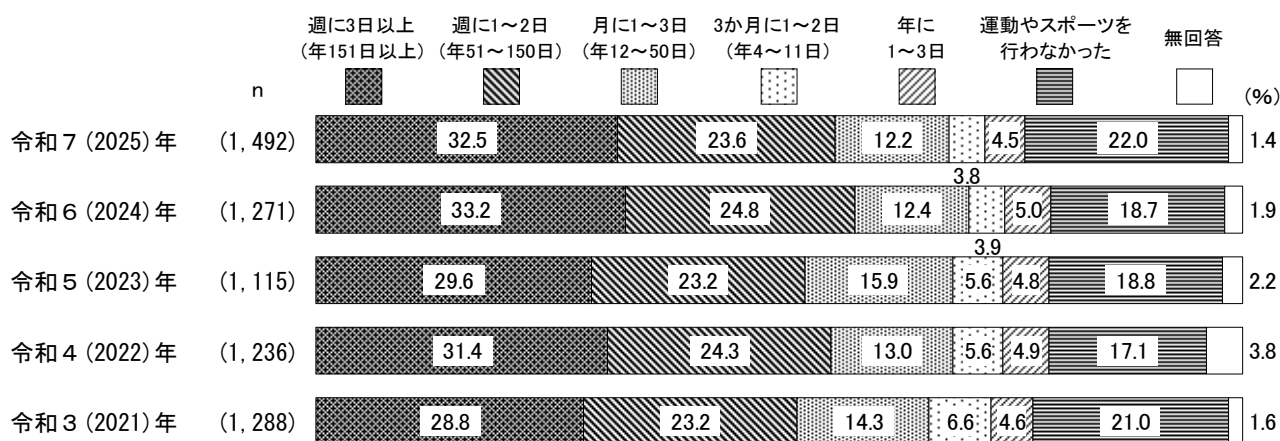


(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ（※）を行いましたか。次の中から
1つ選んでください。 [n=1,492]

※ ここでは「運動やスポーツ」を、「散歩や階段昇降など、健康・体力や美容の保持増進のための活動」や「家事・育児・通勤・通学など日常生活の中で意識的に身体を動かすこと」まで幅広く捉えることとします。

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
週に3日以上(年151日以上)	33.2%	32.5%	0.7 ↓
週に1～2日(年51～150日)	24.8%	23.6%	1.2 ↓
月に1～3日(年12～50日)	12.4%	12.2%	0.2 ↓
3ヶ月に1～2日(年4～11日)	3.9%	3.8%	0.1 ↓
年に1～3日	5.0%	4.5%	0.5 ↓
運動やスポーツを行わなかった	18.7%	22.0%	3.3 ↑

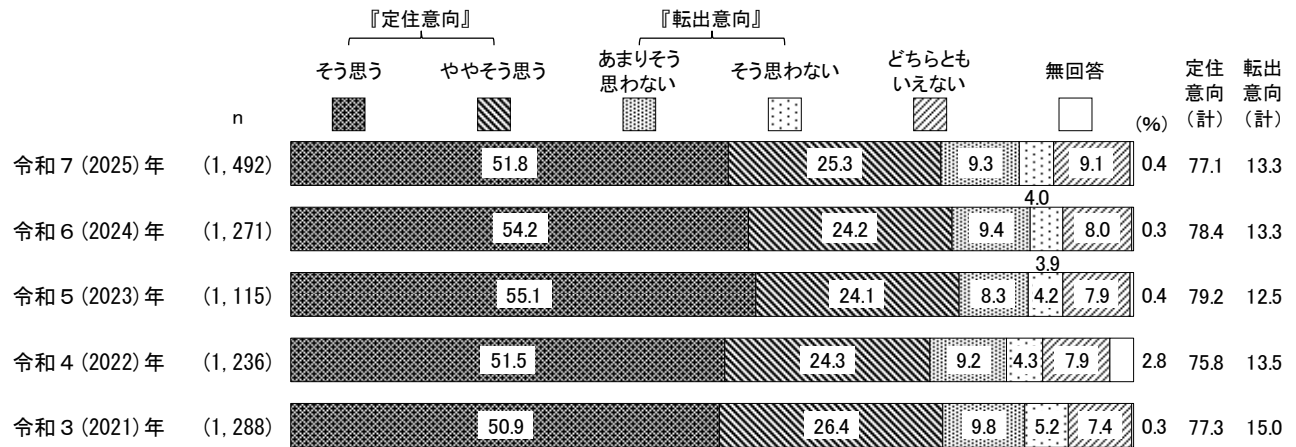


(3) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『定住意向』	78.4%	77.1%	1.3 ↓
『転出意向』	13.3%	13.3%	0.0 →

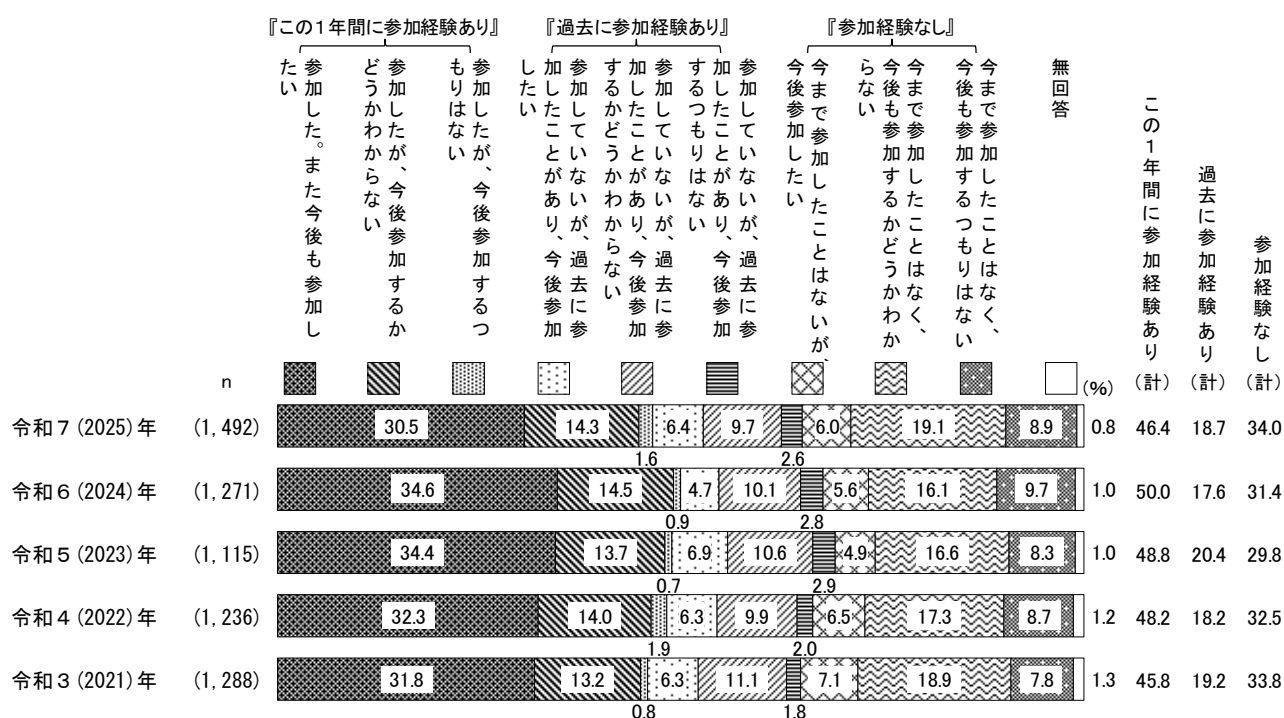


(4) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思いませんか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『この1年間に参加経験あり』	50.0%	46.4%	3.6 ↓
『過去に参加経験あり』	17.6%	18.7%	1.1 ↑
『参加経験なし』	31.4%	34.0%	2.6 ↑

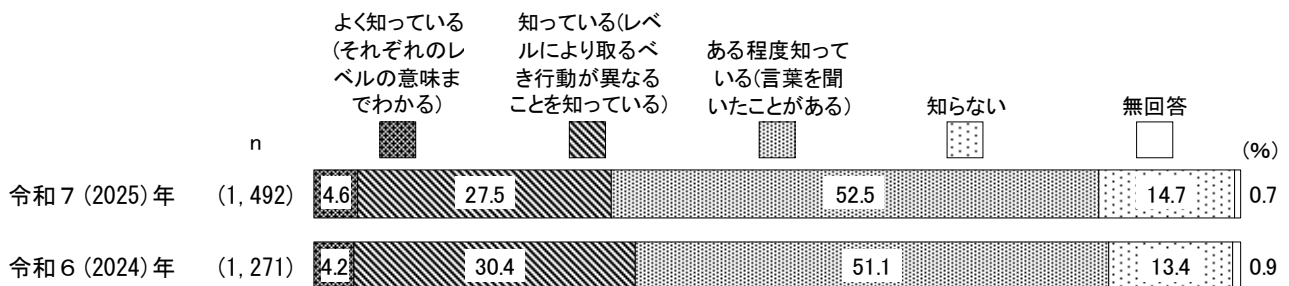


4 防災対策について

(1) 避難情報（５段階の警戒レベル）の認知度

問11 あなたは、水害や土砂災害において避難するタイミングの目安となる「５段階の警戒レベル（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保など）」を知っていますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）	4.2%	4.6%	0.4 ↑
知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）	30.4%	27.5%	2.9 ↓
ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）	51.1%	52.5%	1.4 ↑
知らない	13.4%	14.7%	1.3 ↑

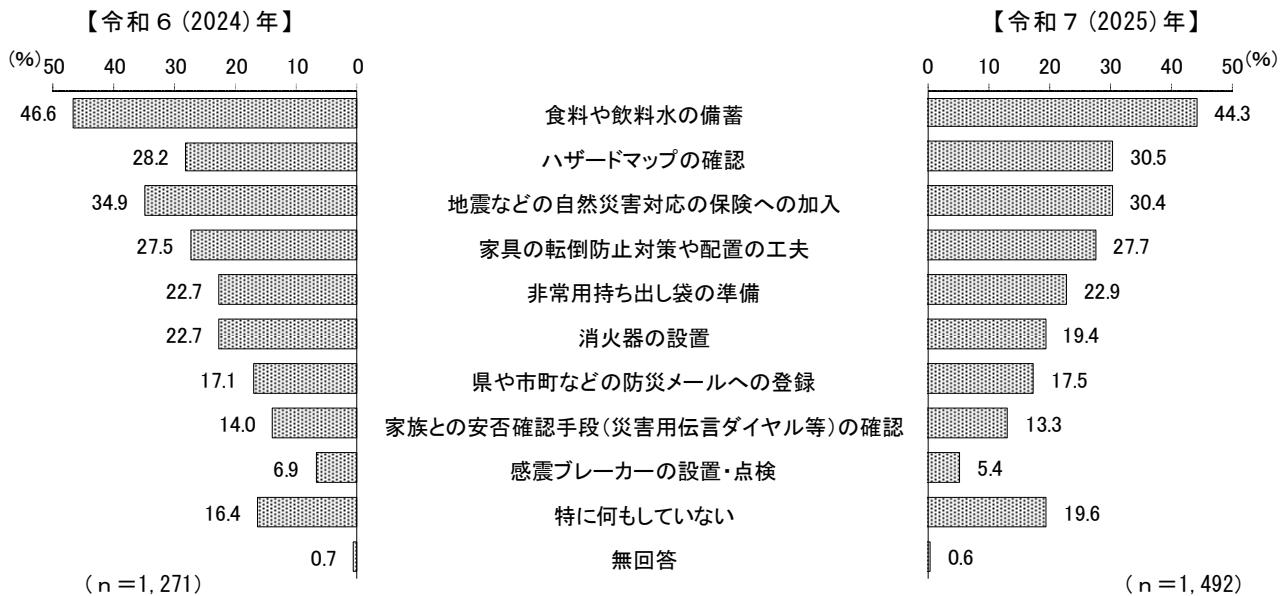


(2) 災害に対する備え

問12 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつかを選んでください。

[n=1,492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
食料や飲料水の備蓄	46.6%	44.3%	2.3 ↓
ハザードマップの確認	28.2%	30.5%	2.3 ↑
地震などの自然災害対応の保険への加入	34.9%	30.4%	4.5 ↓



※ 感震ブレーカーとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に電力の供給を遮断する器具をいいます。

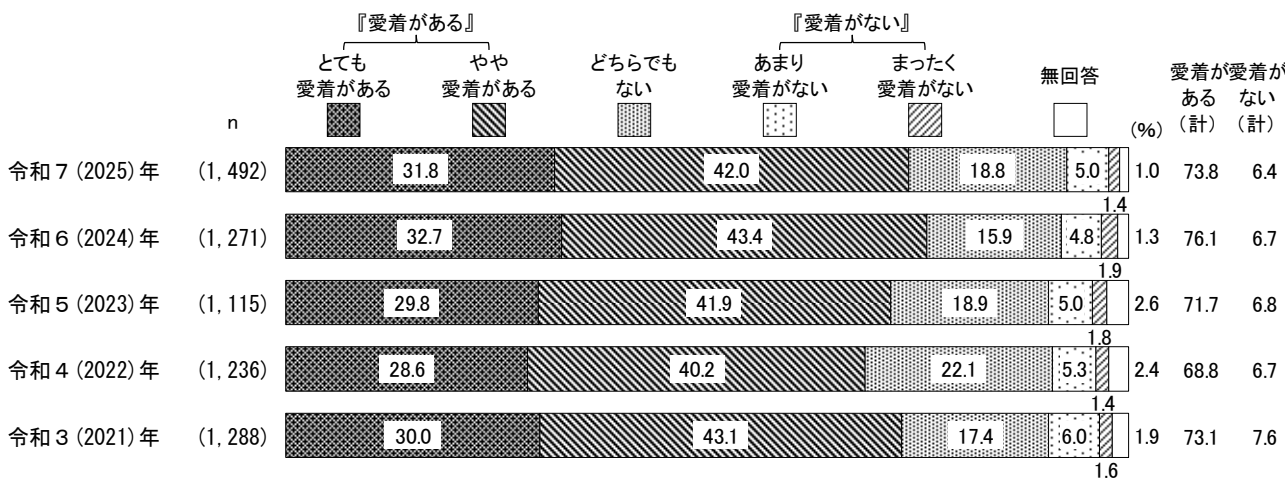
5 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

問13 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1, 492]

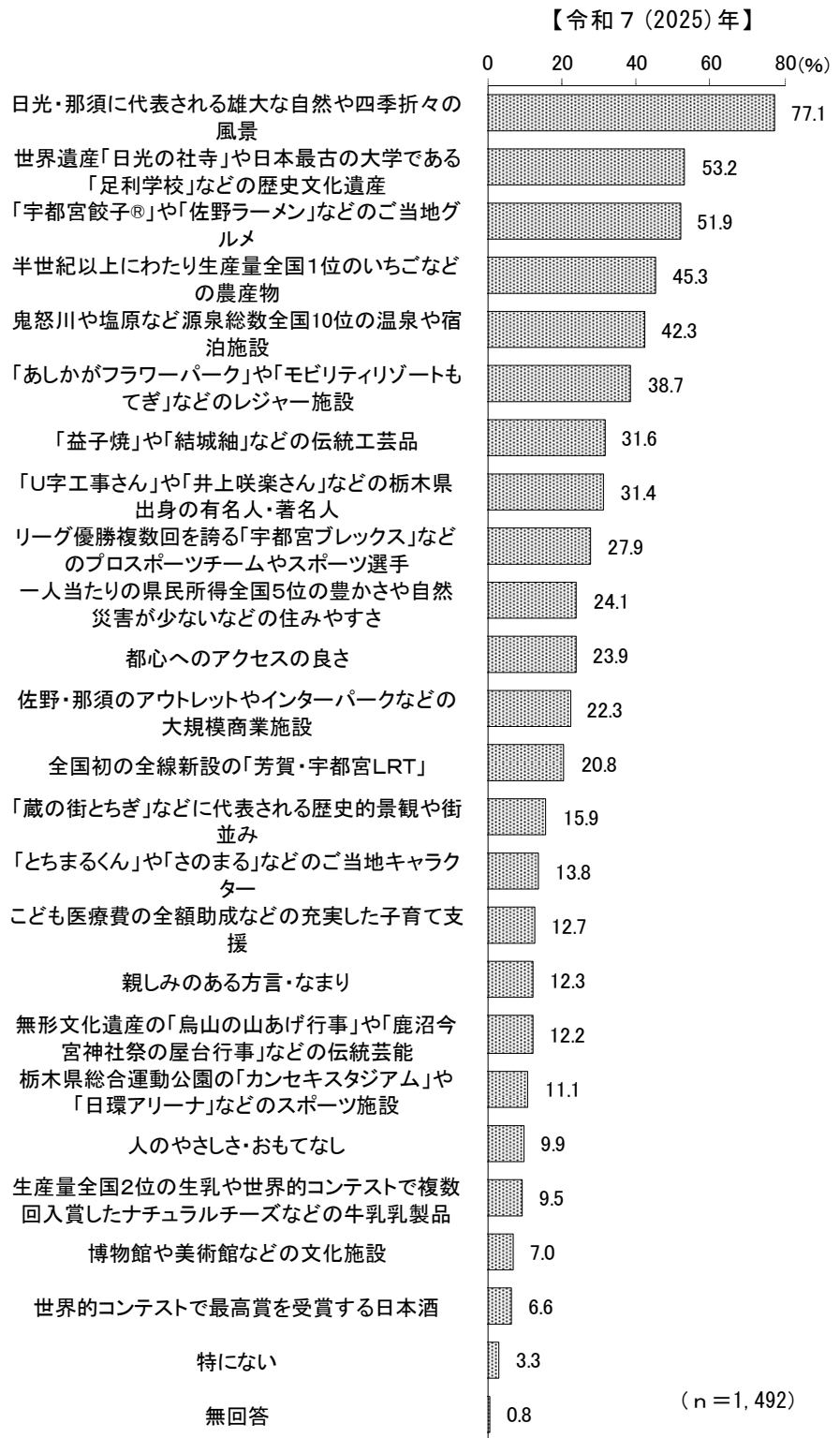
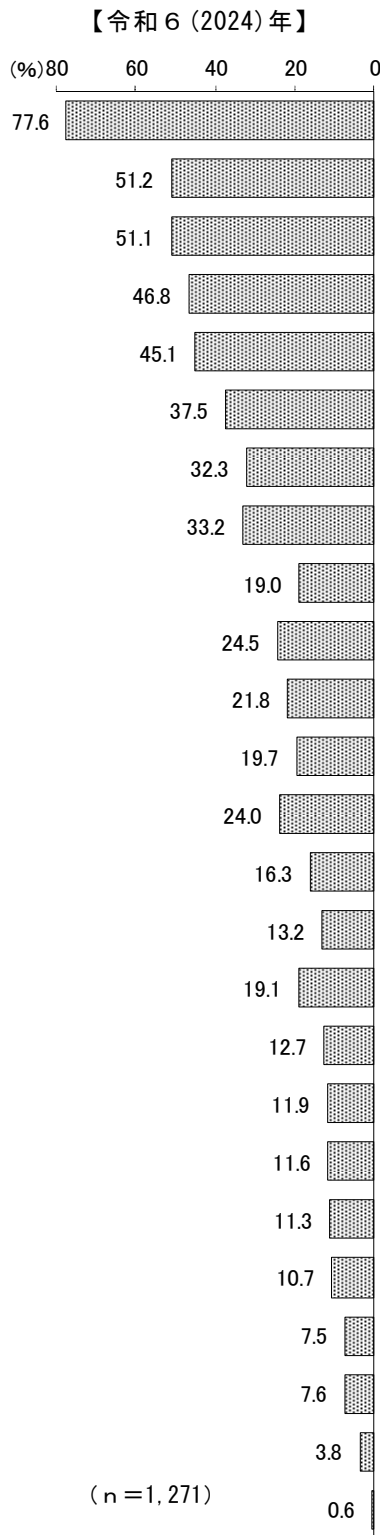
	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
『愛着がある』	76.1%	73.8%	2.3 ↓
『愛着がない』	6.7%	6.4%	0.3 ↓



(2) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

問14 あなたが栃木県の魅力として自慢できるもの、オススメするものは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。[n = 1, 492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
日光・那須に代表される雄大な自然や四季折々の風景	77.6%	77.1%	0.5 ↓
世界遺産「日光の社寺」や日本最古の大学である「足利学校」などの歴史文化遺産	51.2%	53.2%	2.0 ↑
「宇都宮餃子®」や「佐野ラーメン」などのご当地グルメ	51.1%	51.9%	0.8 ↑
半世紀以上にわたり生産量全国 1 位のいちごなどの農産物	46.8%	45.3%	1.5 ↓
鬼怒川や塩原など源泉総数全国10位の温泉や宿泊施設	45.1%	42.3%	2.8 ↓



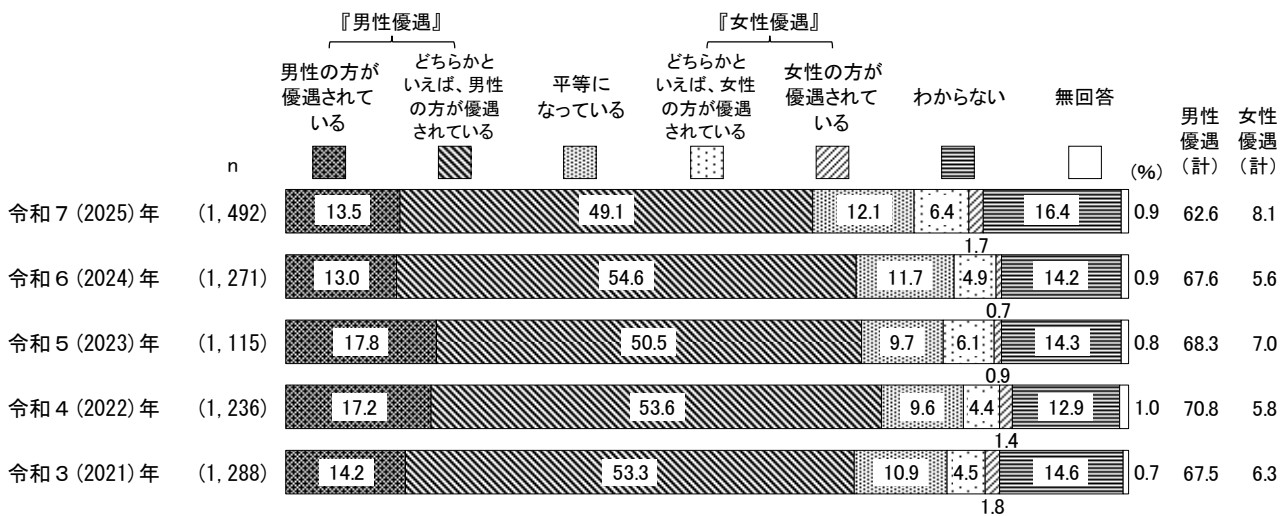
6 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

問15 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『男性優遇』	67.6%	62.6%	5.0 ↓
『女性優遇』	5.6%	8.1%	2.5 ↑
平等になっている	11.7%	12.1%	0.4 ↑

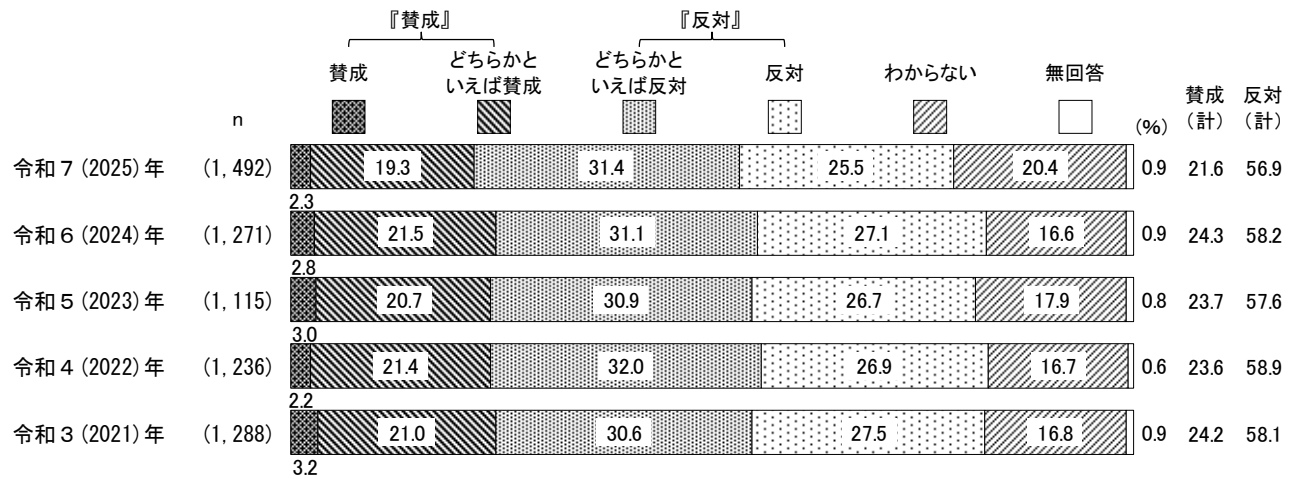


(2) 固定的な性別役割分担意識

問16 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
『賛成』	24.3%	21.6%	2.7 ↓
『反対』	58.2%	56.9%	1.3 ↓

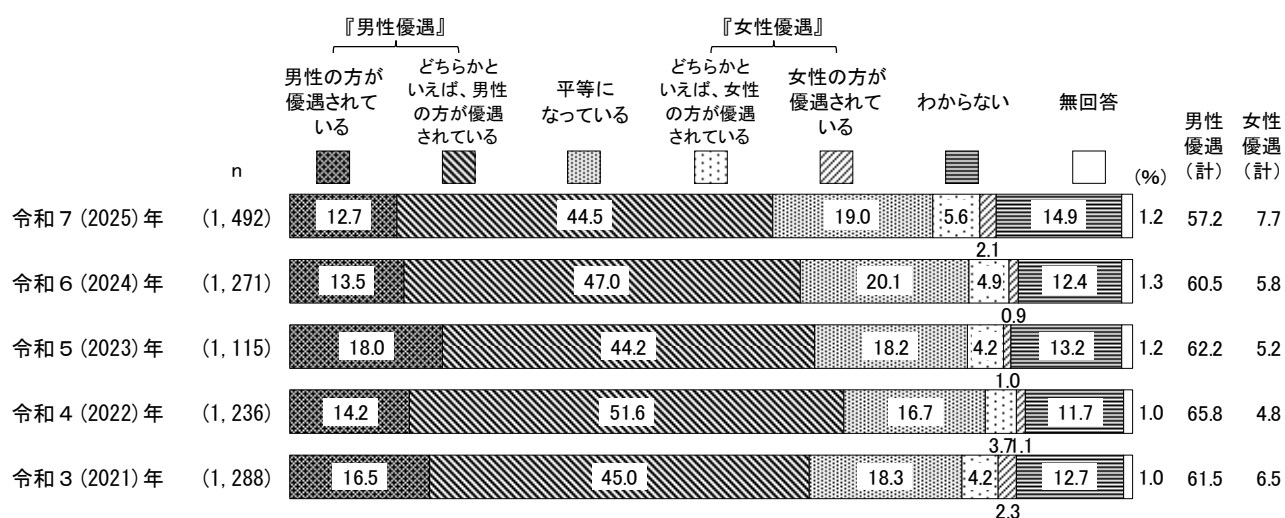


(3) 働く場での男女の地位の平等感

問17 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『男性優遇』	60.5%	57.2%	3.3 ↓
『女性優遇』	5.8%	7.7%	1.9 ↑
平等になっている	20.1%	19.0%	1.1 ↓



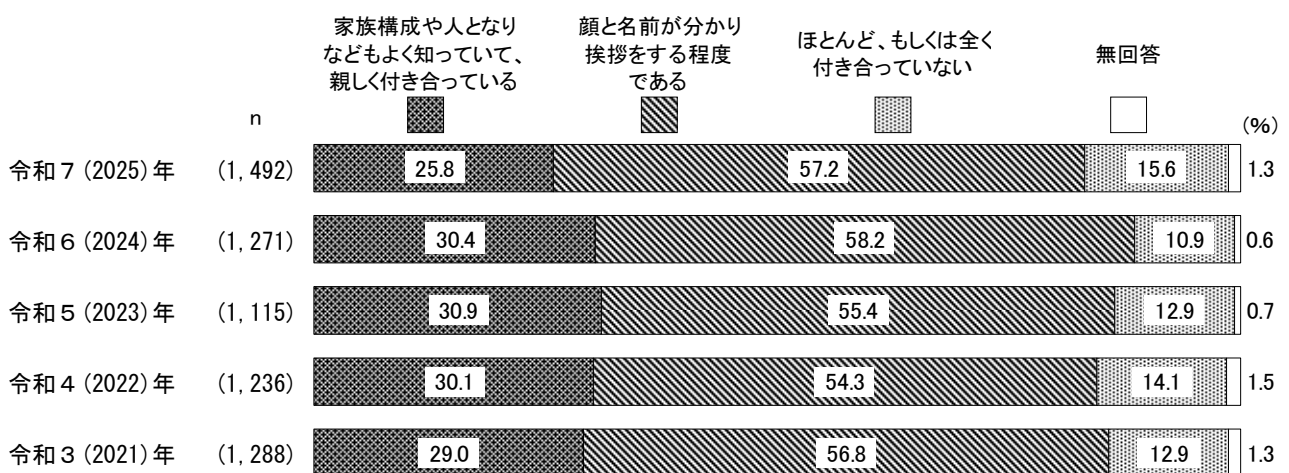
7 地域のつながりについて

(1) ご近所との関係

問18 あなたは現在、ご近所（両隣など）の方とどのような関係ですか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている	30.4%	25.8%	4.6 ↓
顔と名前が分かり挨拶をする程度である	58.2%	57.2%	1.0 ↓
ほとんど、もしくは全く付き合っていない	10.9%	15.6%	4.7 ↑

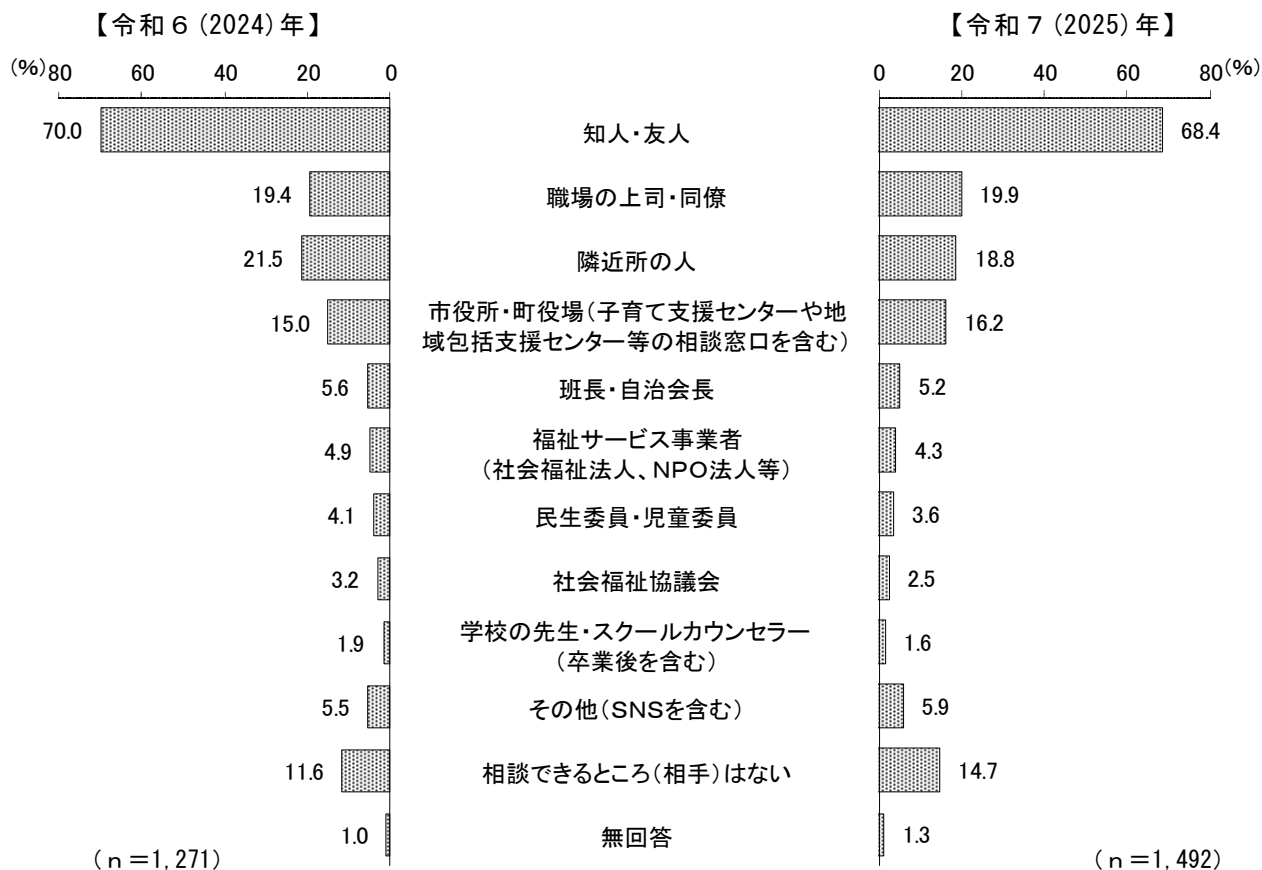


(2) 家族・親族以外で相談できるところ

問19 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）はどこ（誰）ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
知人・友人	70.0%	68.4%	1.6 ↓
職場の上司・同僚	19.4%	19.9%	0.5 ↑
隣近所の人	21.5%	18.8%	2.7 ↓



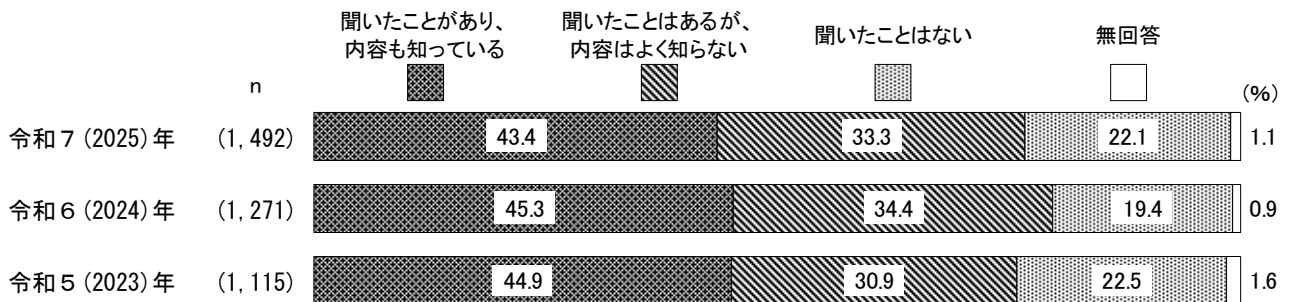
8 ケアラーについて

(1) ケアラーという言葉の認知度

問20 あなたは、「ケアラー」（18歳未満のヤングケアラーを含む。）（※）という言葉を知っていることがありますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

※ 栃木県では、全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現に向けて、令和5年4月に栃木県ケアラー支援条例を施行しました。この条例において、「ケアラー」とは、「高齢、障害、疾病等の理由により援助を必要とする家族、身近な人その他の者に対し、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する」方と定義しており、「ヤングケアラー」とは、このうち18歳未満の方をいいます。

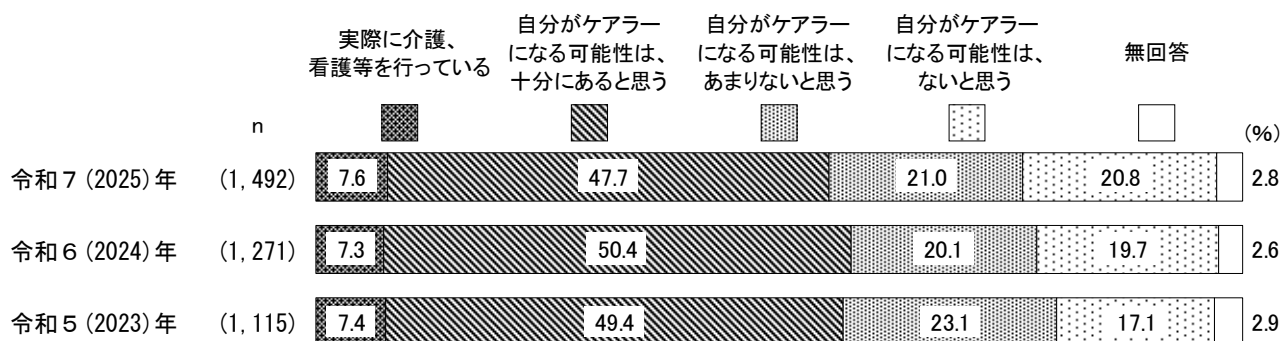
	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
聞いたことがあります、内容も知っている	45.3%	43.4%	1.9 ↓
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	34.4%	33.3%	1.1 ↓
聞いたことはない	19.4%	22.1%	2.7 ↑



(2) ケアラー当事者になる可能性

問21 今後、あなたがケアラー当事者となる可能性について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを、次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
実際に介護、看護等を行っている	7.3%	7.6%	0.3 ↑
自分がケアラーになる可能性は、十分にあると思う	50.4%	47.7%	2.7 ↓
自分がケアラーになる可能性は、あまりないと思う	20.1%	21.0%	0.9 ↑
自分がケアラーになる可能性は、ないと思う	19.7%	20.8%	1.1 ↑

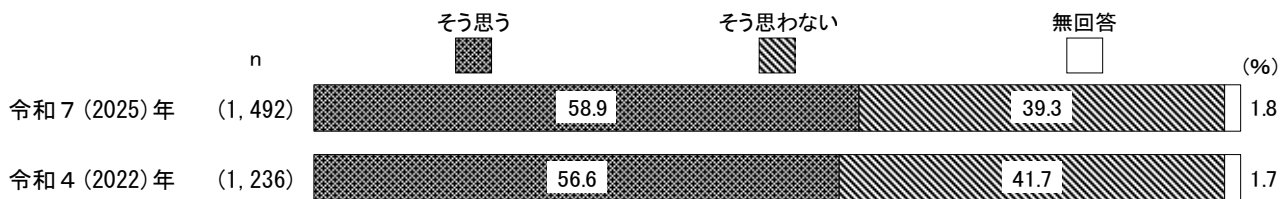


9 在宅医療について

(1) 自宅療養への考え

問22 あなたが病気やけがで長期の療養が必要になり、通院が困難になった場合、自宅で療養したいと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

	令和4(2022)年	令和7(2025)年	R4との差
そう思う	56.6%	58.9%	2.3 ↑
そう思わない	41.7%	39.3%	2.4 ↓

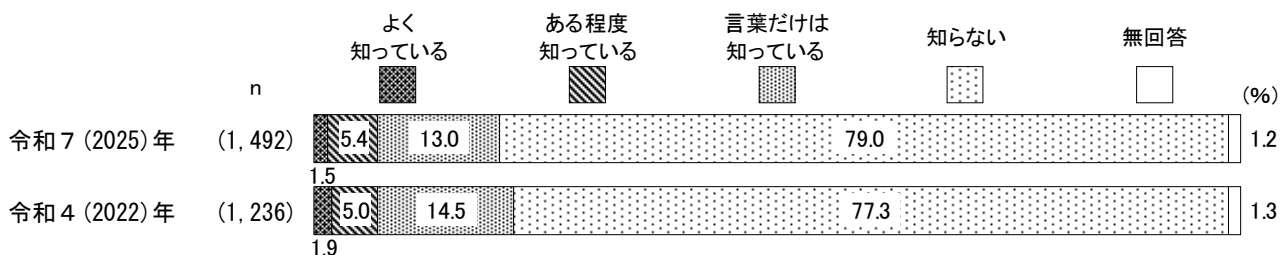


(2) 人生会議（ACP）の認知度

問23 あなたは、「人生会議（ACP）」（※）を知っていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

※ 「人生会議（ACP）」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称で、当事者が望む人生の最終段階の医療やケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことをいいます。

	令和4(2022)年	令和7(2025)年	R4との差
よく知っている	1.9%	1.5%	0.4 ↓
ある程度知っている	5.0%	5.4%	0.4 ↑
言葉だけは知っている	14.5%	13.0%	1.5 ↓
知らない	77.3%	79.0%	1.7 ↑

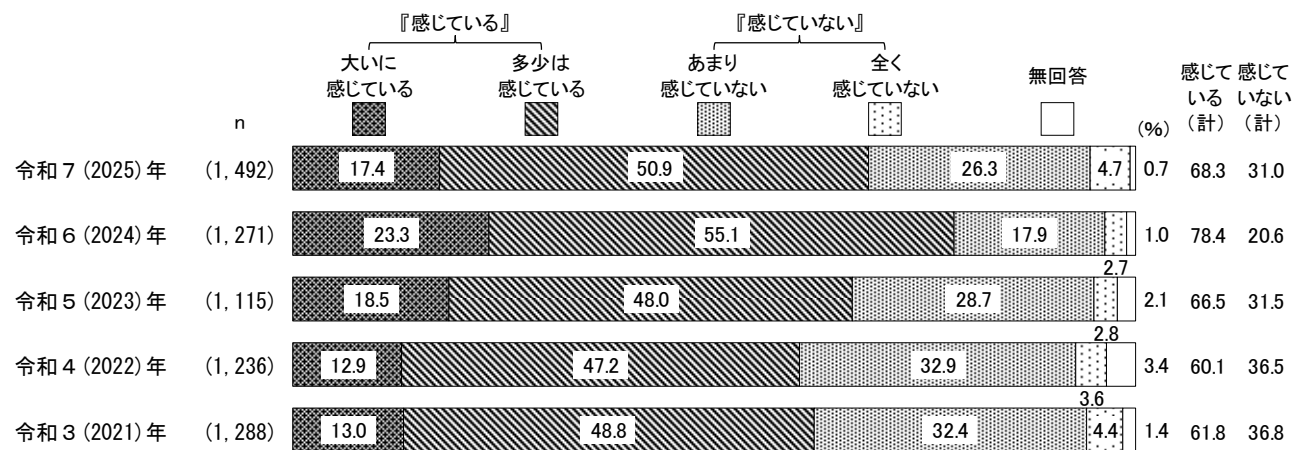


10 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安

問24 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『感じている』	78.4%	68.3%	10.1 ↓
『感じていない』	20.6%	31.0%	10.4 ↑

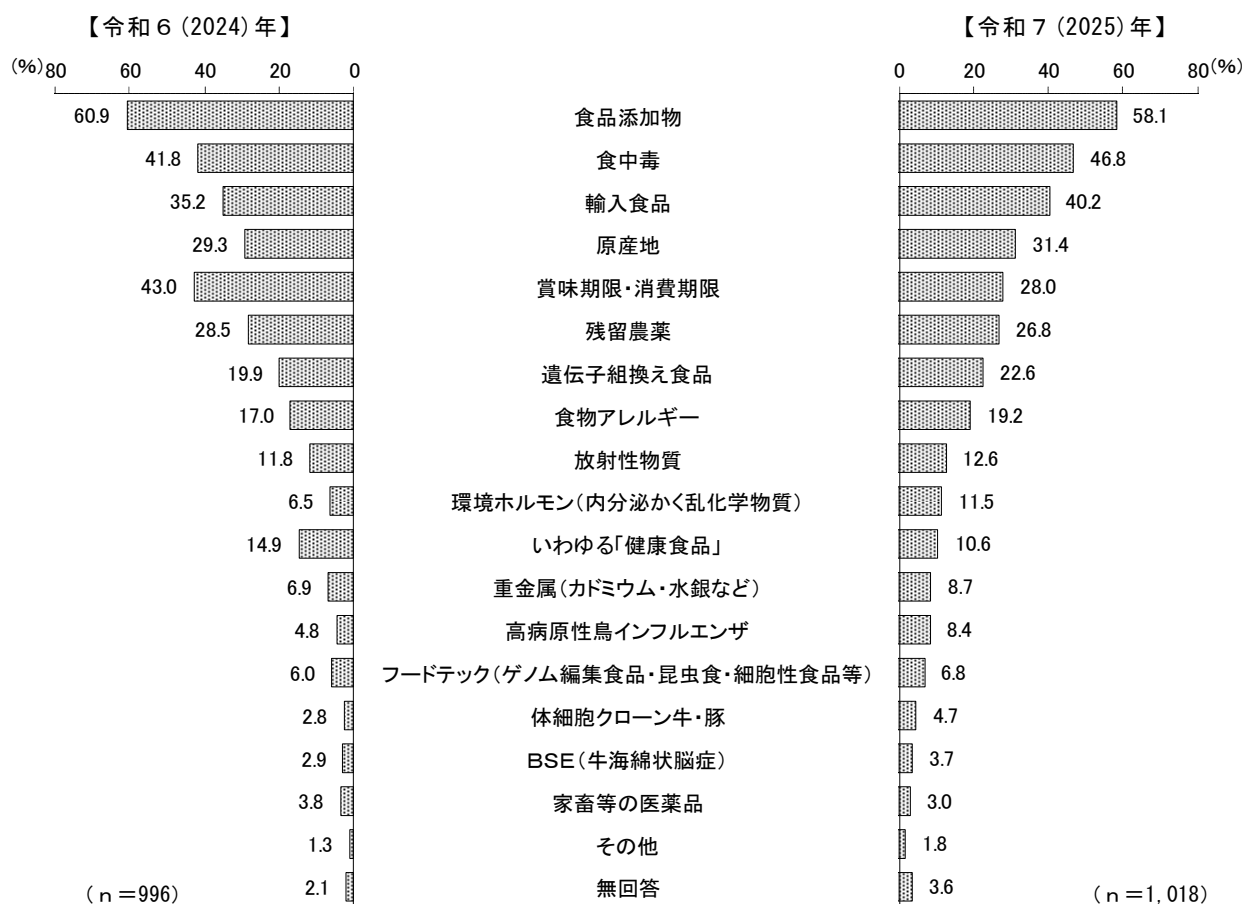


(2) 食品の安全性について不安に思うもの

(問24で選択肢「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問25 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。次の中から4つまで選んでください。[n=1,018]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
食品添加物	60.9%	58.1%	2.8 ↓
食中毒	41.8%	46.8%	5.0 ↑
輸入食品	35.2%	40.2%	5.0 ↑
原産地	29.3%	31.4%	2.1 ↑
賞味期限・消費期限	43.0%	28.0%	15.0 ↓

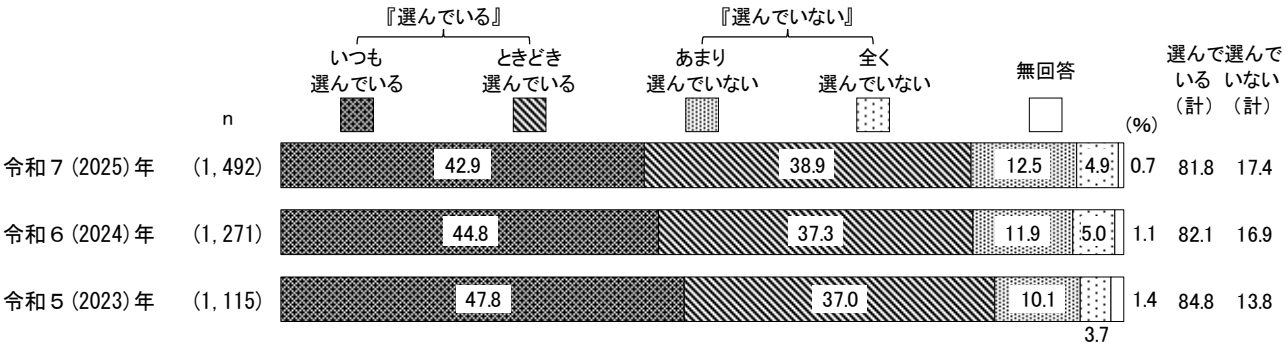


11 食に関する意識と実践について

(1) 産地や生産者を意識して食品等を選ぶか

問26 あなたは、お米や野菜、果物などの生鮮食品を購入する際、国産や県産など産地を意識して選んでいますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『選んでいる』	82.1%	81.8%	0.3 ↓
『選んでいない』	16.9%	17.4%	0.5 ↑

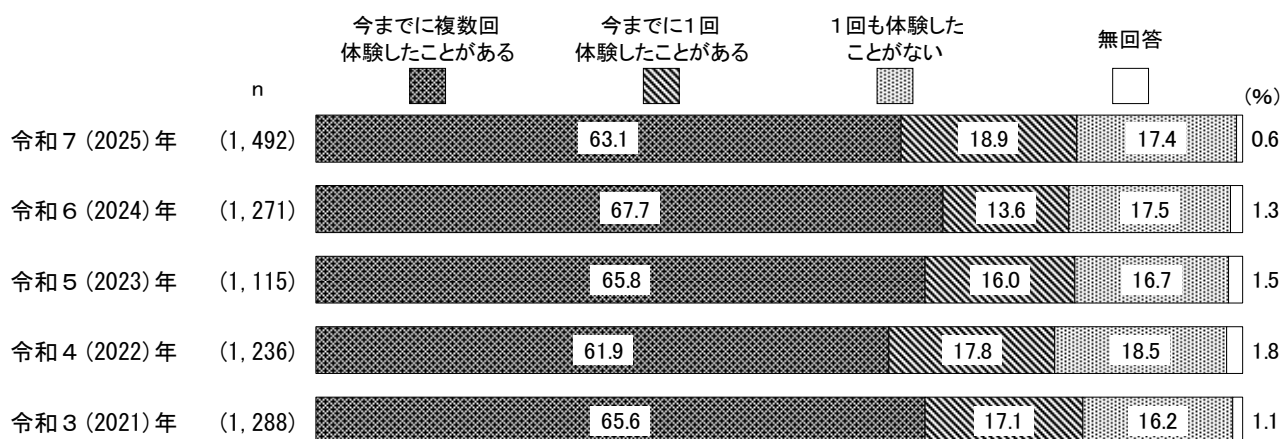


(2) 農業体験をした経験

問27 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなど、農業体験をしたことがありますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
今までに複数回体験したことがある	67.7%	63.1%	4.6 ↓
今までに1回体験したことがある	13.6%	18.9%	5.3 ↑
1回も体験したことがない	17.5%	17.4%	0.1 ↓

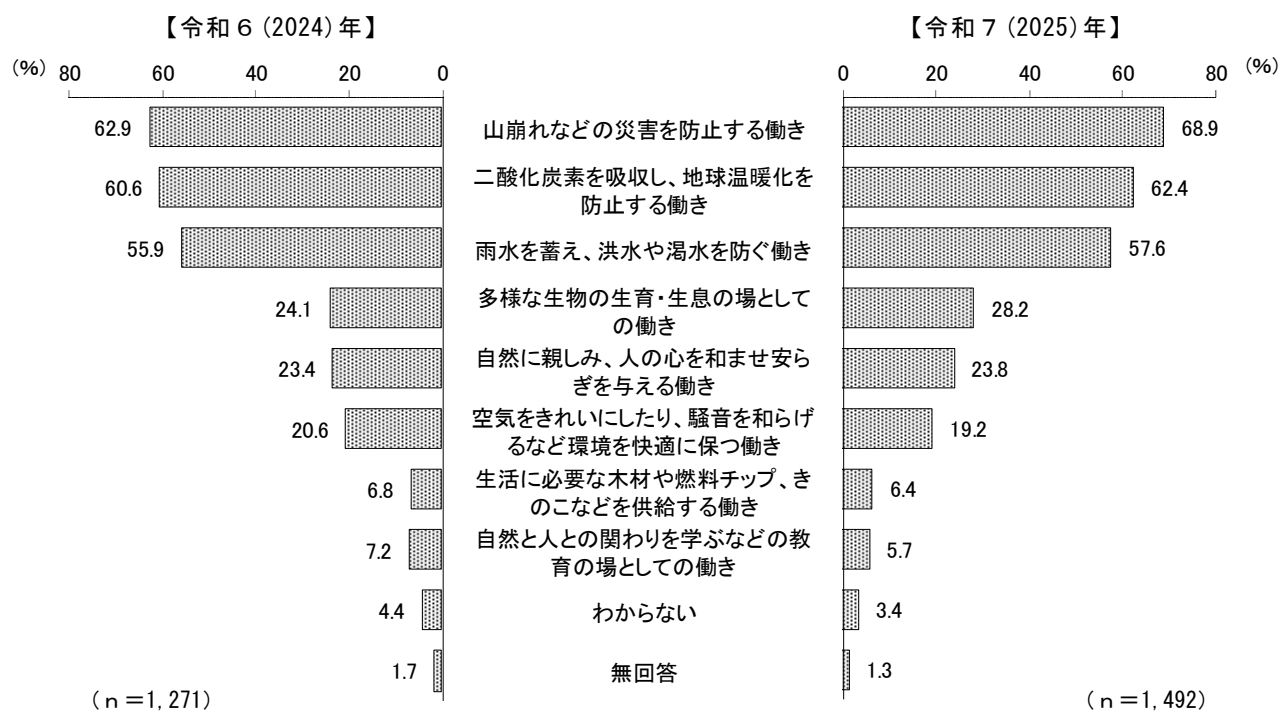


12 とちぎの元気な森づくり県民税について

(1) 重要だと思う森林の持つ働き

問28 森林には、様々な働きがあります。あなたが特に重要だと考える森林の働きはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,492]

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
山崩れなどの災害を防止する働き	62.9%	68.9%	6.0 ↑
二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	60.6%	62.4%	1.8 ↑
雨水を蓄え、洪水や渇水を防ぐ働き	55.9%	57.6%	1.7 ↑

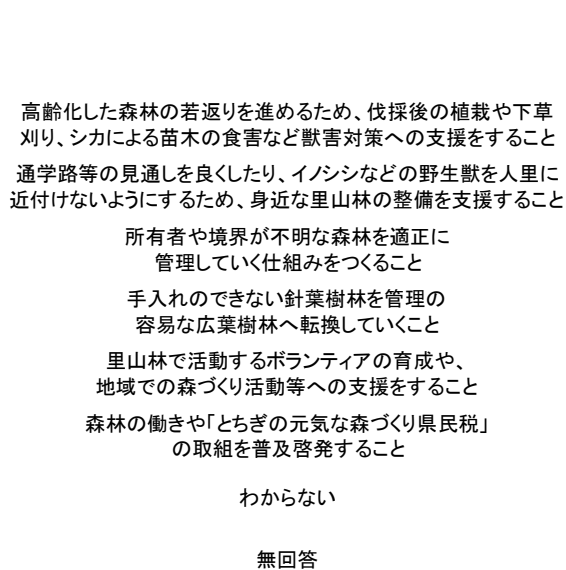
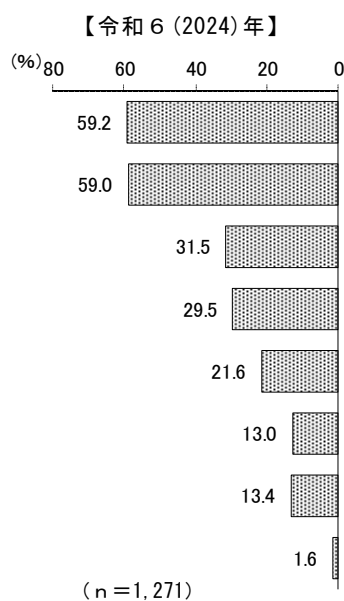


(2) 県民税事業の取組の重要性

問29 栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要と思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
高齢化した森林の若返りを進めるため、伐採後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の被害など獣害対策への支援をすること	59.2%	62.7%	3.5 ↑
通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	59.0%	61.1%	2.1 ↑
所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	31.5%	34.1%	2.6 ↑



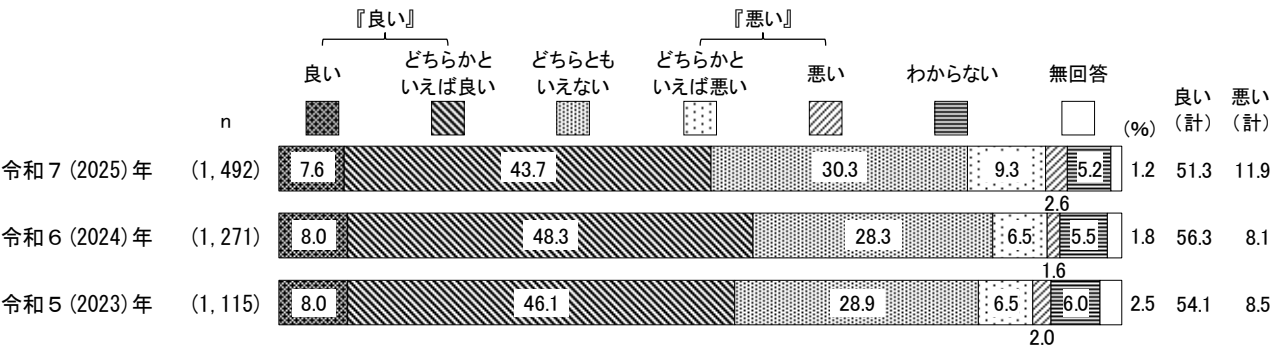
13 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況の変化

問30 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1, 492]

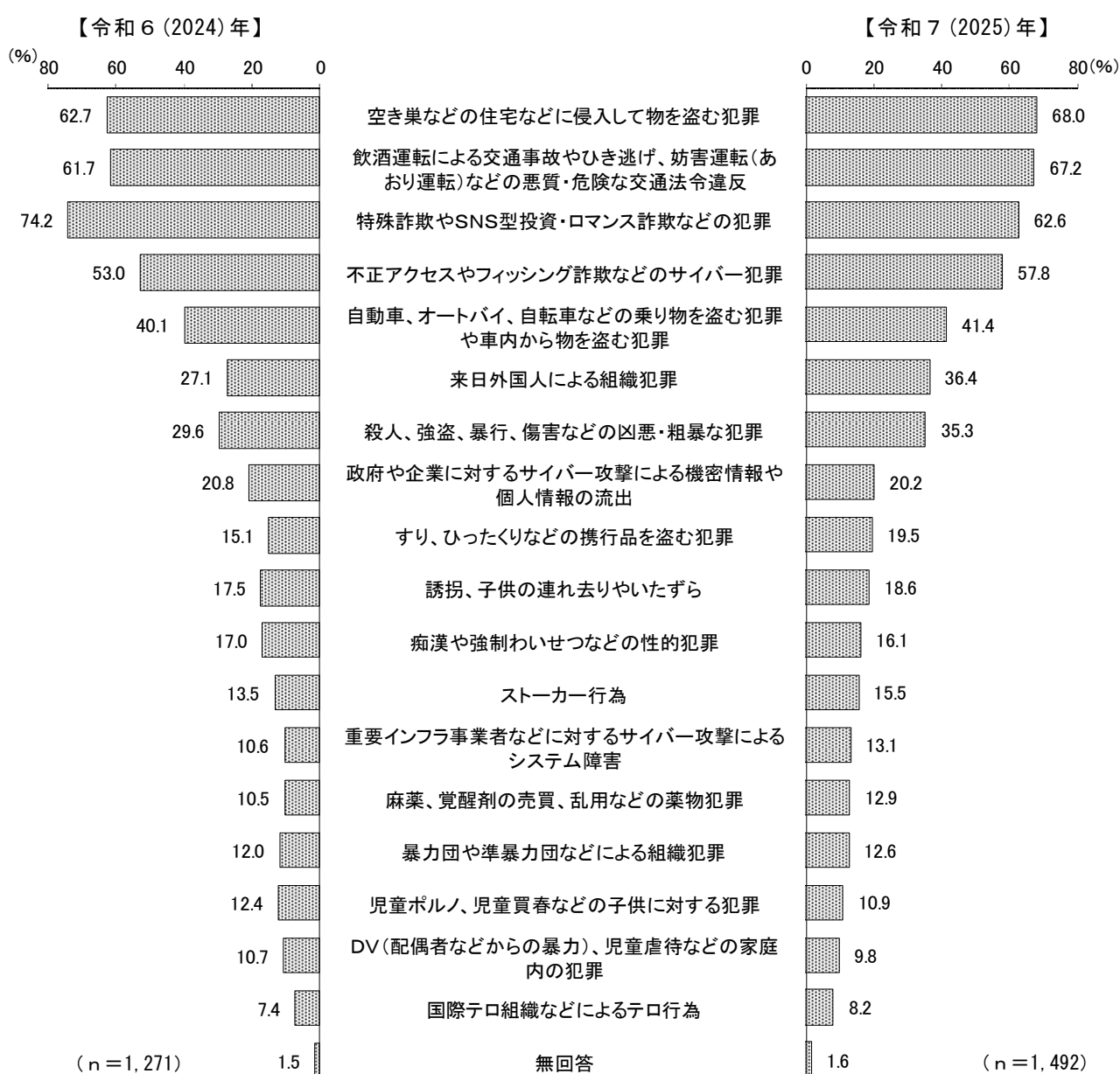
	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
『良い』	56.3%	51.3%	5.0 ↓
『悪い』	8.1%	11.9%	3.8 ↑



(2) 不安を感じる犯罪

問31 社会が変化する中、あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安になる犯罪などは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪	62.7%	68.0%	5.3 ↑
飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転（あおり運転）などの悪質・危険な交通法令違反	61.7%	67.2%	5.5 ↑
特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの犯罪	74.2%	62.6%	11.6 ↓

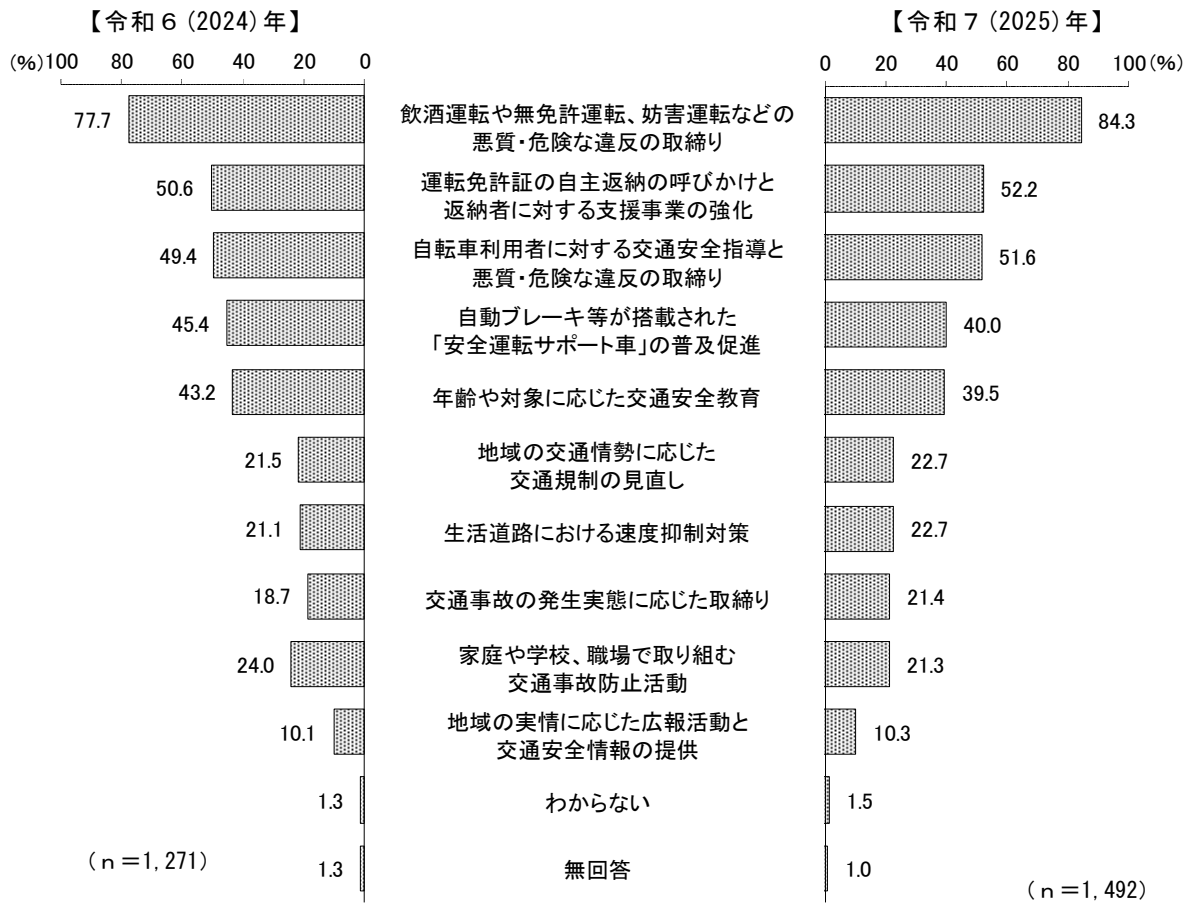


(3) 交通事故を抑止するための対策

問32 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n =1, 492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り	77.7%	84.3%	6.6 ↑
運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する支援事業の強化	50.6%	52.2%	1.6 ↑
自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り	49.4%	51.6%	2.2 ↑



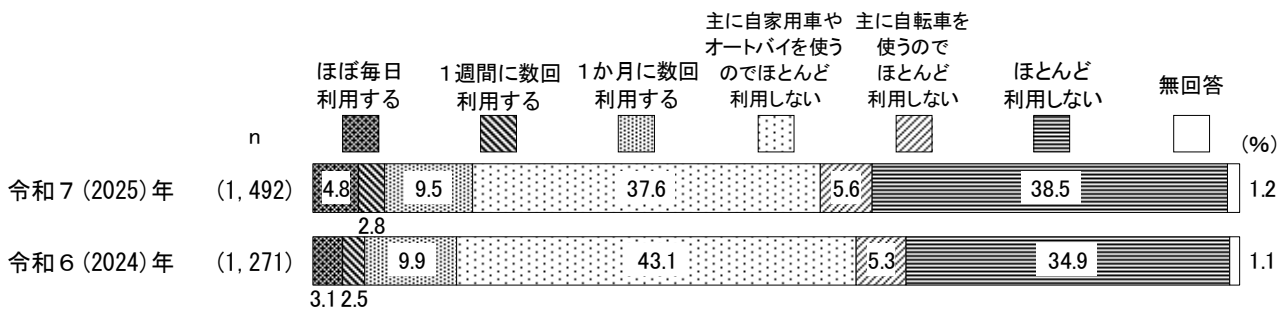
14 公共交通について

(1) 公共交通の利用状況

問33 あなたは、日常生活の中で鉄道・バス・タクシーなどの公共交通機関（※）をどれくらい利用していますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

※ 公共交通機関とは、民間の交通事業者が運行するものだけではなく、市町が運行するコミュニティバスやデマンド交通なども含みます。

	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
ほぼ毎日利用する	3.1%	4.8%	1.7 ↑
1週間に数回利用する	2.5%	2.8%	0.3 ↑
1か月に数回利用する	9.9%	9.5%	0.4 ↓
主に自家用車やオートバイを使うのでほとんど利用しない	43.1%	37.6%	5.5 ↓
主に自転車を使うのでほとんど利用しない	5.3%	5.6%	0.3 ↑
ほとんど利用しない	34.9%	38.5%	3.6 ↑

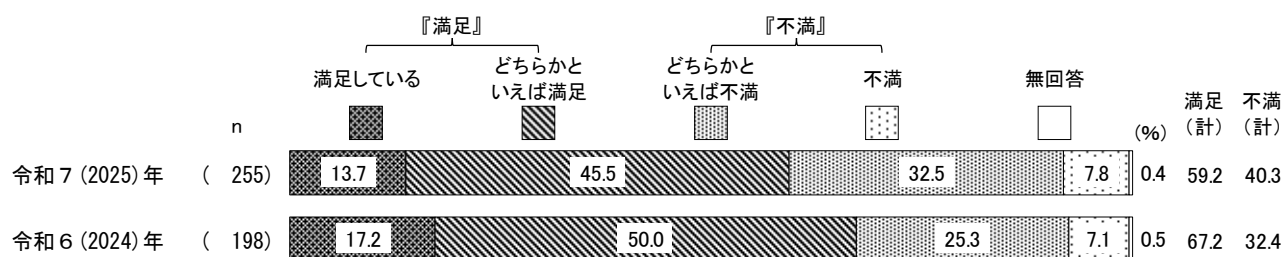


(2) 公共交通に関する満足度

(問33で選択肢「ほぼ毎日利用する」、「1週間に数回利用する」、「1か月に数回利用する」を選んだ方のみお答えください)

問34 あなたは、公共交通機関のサービスや運行状況について、満足していますか。次の中から1つ選んでください。 [n=255]

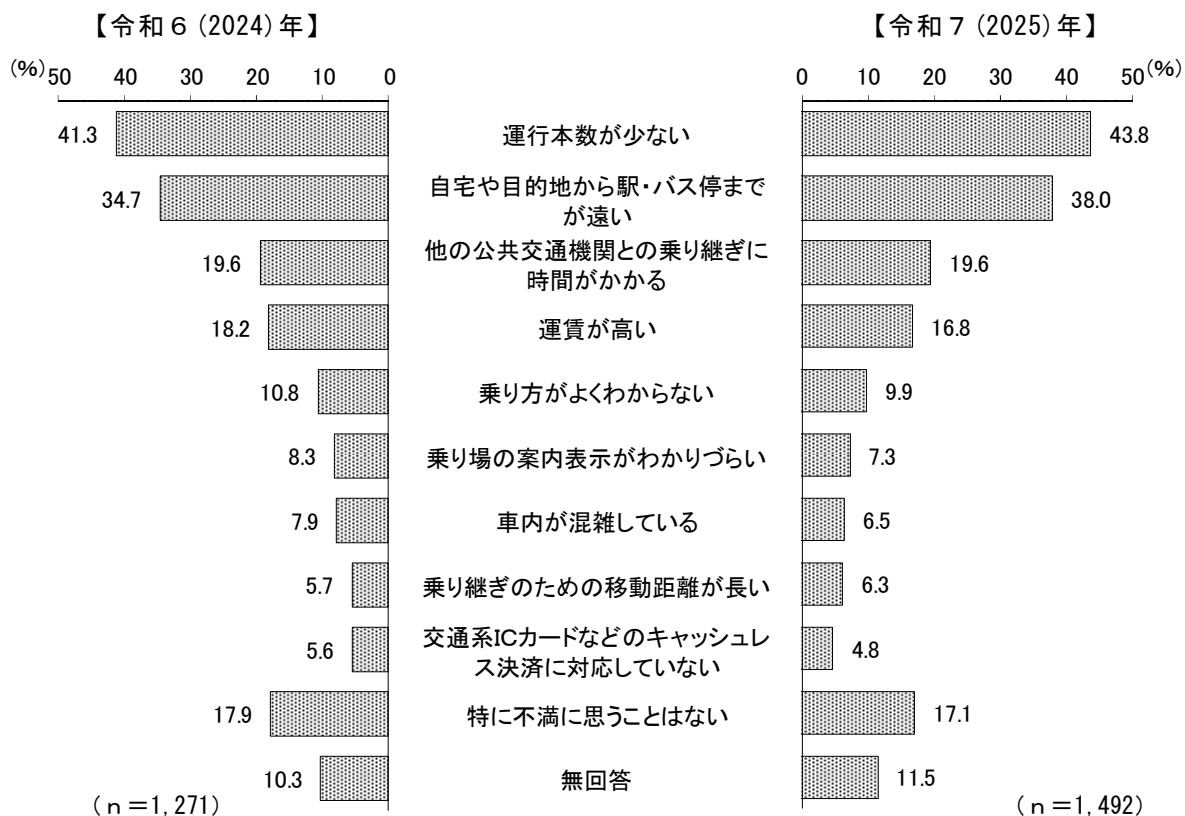
	令和6(2024)年	令和7(2025)年	R6との差
『満足』	67.2%	59.2%	8.0 ↓
『不満』	32.4%	40.3%	7.9 ↑



(3) 公共交通に不満を感じること

問35 あなたが公共交通機関に不満を感じることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。[n =1, 492]

	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年	R6との差
運行本数が少ない	41.3%	43.8%	2.5 ↑
自宅や目的地から駅・バス停までが遠い	34.7%	38.0%	3.3 ↑
他の公共交通機関との乗り継ぎに時間がかかる	19.6%	19.6%	0.0 →

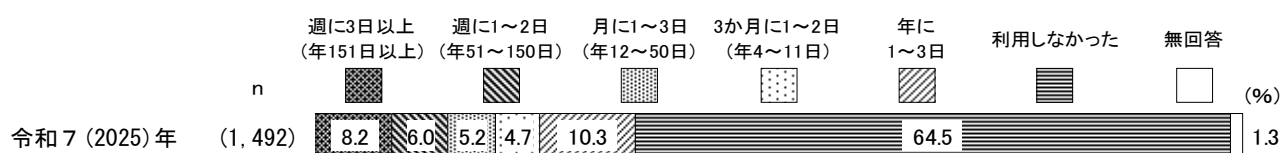


15 自転車利用率と目的について

(1) 自転車の利用状況

問36 あなたは、この1年間にどの程度自転車を利用しましたか。次の中から1つ選んでください。
[n=1,492]

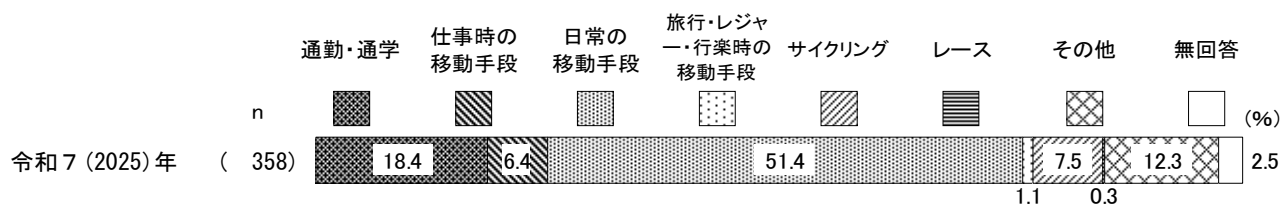
	令和7(2025)年
週に3日以上(年151日以上)	8.2%
週に1～2日(年51～150日)	6.0%
月に1～3日(年12～50日)	5.2%
3ヶ月に1～2日(年4～11日)	4.7%
年に1～3日	10.3%
利用しなかった	64.5%



(2) 自転車利用の目的

(問36で選択肢「週に3日以上」～「3か月に1・2日」を選んだ方のみお答えください)
問37 あなたが自転車を利用した主な目的は何ですか。次の中から1つ選んでください。
[n=358]

	令和7(2025)年
日常の移動手段	51.4%
通勤・通学	18.4%
サイクリング	7.5%

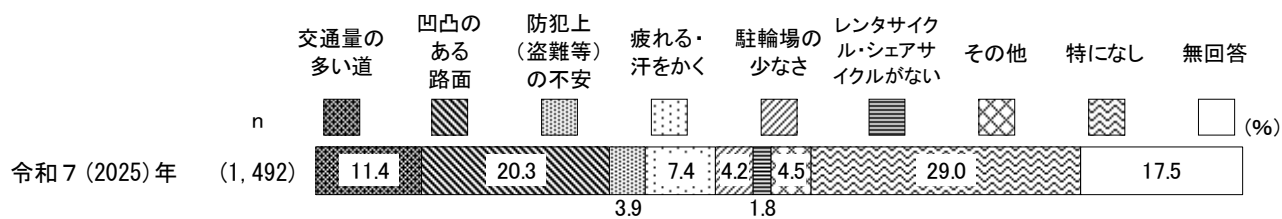


(3) 自転車利用に際して不満を感じること

問38 あなたが自転車を利用する際に不満を感じることは何ですか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,492]

	令和7(2025)年
凹凸のある路面	20.3%
交通量の多い道	11.4%
疲れる・汗をかく	7.4%
特になし	29.0%



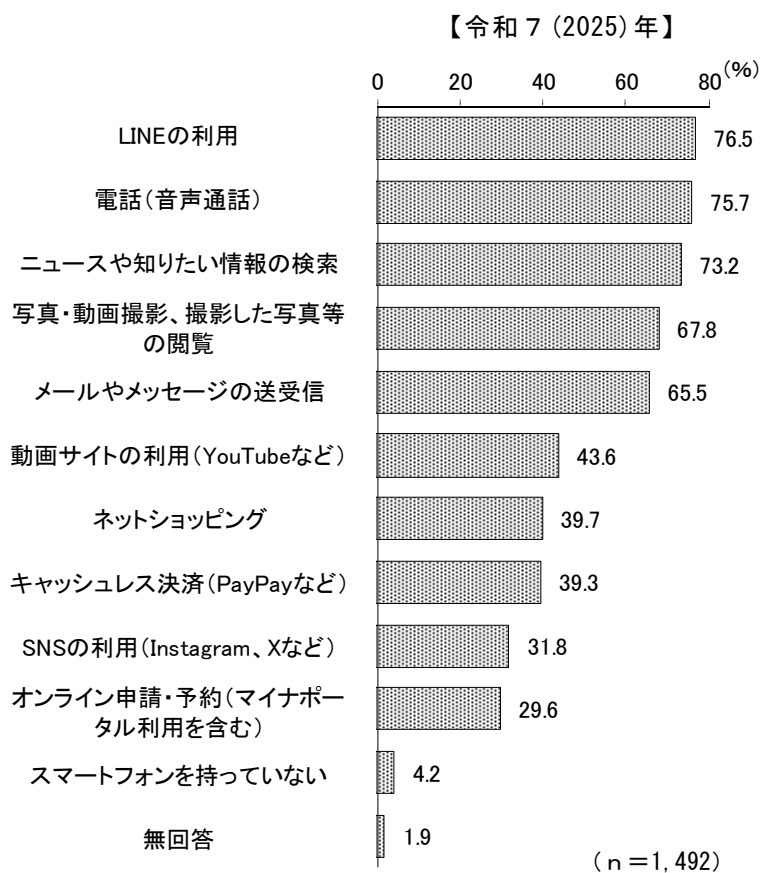
16 スマートフォンの活用について

(1) スマートフォン利用の目的

問39 あなたは、スマートフォンを普段どのようなことに使っていますか。次の中からいくつかでも選んでください。

[n=1,492]

	令和7(2025)年
LINEの利用	76.5%
電話(音声通話)	75.7%
ニュースや知りたい情報の検索	73.2%



(2) スマートフォン利用に当たり困ったことや不安に思ったこと

問40 あなたが、スマートフォンの利用に当たり困ったこと、不安に思ったことは何ですか。
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,492]

	令和 7 (2025) 年
個人情報の流出が心配	51.8%
機器の値段や通信料が高い	41.7%
詐欺等の犯罪に巻き込まれないか心配	39.2%

